

子どもの貧困率16.3% (相対的貧困率)

「相対的貧困」とは、その地域や社会において「普通」とされる生活を享受することができない状態のことを言います。日本では6人に1人の子どもが貧困に直面している計算です。ひとり親世帯の子どもの2人に1人は貧困であり、「格差」(年齢や男女別、就業形態など)に起因しています。所得が低い家庭の子どもが低学力・低学歴となり、将来不安定な就業に陥ることで、次の世代にまで貧困状態が連鎖していく。この問題に対して、国や自治体は予算を割き、貧困を連鎖させない政策を進めていますが、十分ではありません。

「子どもの貧困対策」「困難を抱える子ども・若者への支援」は、アナタ自身の将来に関係します！

子どもの貧困問題は、ただ単に経済的に苦しいといった問題ではなく、不登校や学力低下、虐待など子どもの成長にマイナスの影響を与えます。そうした問題を放置することは、将来の社会保障の担い手や労働力を失う(納税者が減り、税で支える人が増す)ことにもつながり、社会にとっても大きな損失です。地域では「子ども食堂」「学習支援」「多様な体験」等を提供する団体やNPOが立ち上がってます。私たち社会も身近な問題として子どもの貧困に目を向け、日本の未来を考えなければならないと思います。

【第9回 ふれあいバス旅行】募集中！

 **鮮やかな紅葉が上田城跡を彩る秋**
この機会に是非ご参加ください！

～小諸ワイナリー＝昼食＝真田丸ドラマ館
＝上田城址～ ◎各地6時頃より迎え、出発7時

【日 程】10月23日(日)日帰り

【参加費用】一人9,000円(見学代・昼食代込み)

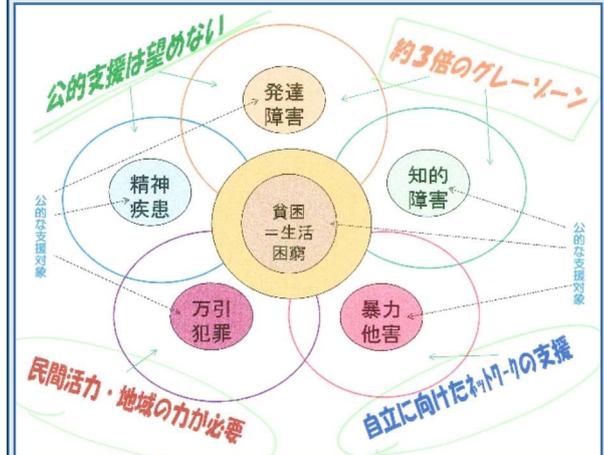
【募集人員】一般バス2台 80人、出会いバス1台
※出会いバス:独身40人(男性20人・女性20人)

【締切日】10月10日 電話・ファックスで

【問合せ】福田ちえ後援会(TEL.028-636-2582)

※早めのお申込みは、とても助かります(*^-^*)

困難を抱える 子ども・若者支援



若者層の困難な状況が発生させる要因には、経済状況を始め複数の要因が複雑に絡み合い、発生する困難な状況も多様化していることが問題として挙げられる。ニート、引きこもり、不登校、貧困など、子ども・若者の抱える問題は深刻化しており、公的支援は望めない、グレーゾーン当事者への関わりには限界がある。宇都宮市は家庭訪問して支援するアウトリーチの支援が弱く、行政や医療機関、民間支援団体などの多くの機関・団体の連携・協力が必要であり、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を支援するためのネットワーク整備が急務である。加えて義務教育中は把握が容易であるが、次の進路に進む際や、中退などの実態把握は難しい実態がある。このような現状を踏まえ、6月議会に於いて「宇都宮市子ども・若者支援地域協議会」の早期設置を提言した。

→市は、これまでの組織を見直し、専門部署や機関団体・民間団体へ協議会の設置に向け調整している。

※栃木県の高校中退者 871 人のうち、宇都宮市では推計 229 人 (H26 年度) 本市の若年無業者の推計 2,000 人

福田ちえ●PROFILE

1965 (S40) 3.16 生まれ O 型 同居の家族: 夫、娘3人、義母
宇都宮市立西原小学校～宇都宮市立一条中学校～栃木県立宇都宮工業高校～日本工業大学システム工学科卒業 (1987.3)

●これまでの主な経歴

1987～1993 年 足利システムサービス(株) (足利銀行グループ)
2001～2005 年 衆議院議員 水島広子秘書
2014～2015 年 老人デイサービスセンターにしはら
2015～2016 年 宇都宮中央ライオンズクラブ会長
西原小学校 PTA 会長／一条中学校 PTA 副会長／宇都宮市 PTA 連合会 常任理事／同 教育課題特別委員会委員長

●議会

2007 年 統一地方選挙 宇都宮市議会初当選
以降 2011 年、2015 年 宇都宮市議会議員当選 (3期)
◎文教消防水道常任委員長 (2011.6～2012.6)
◎建設常任委員会委員長 (2012.6～2013.6)
◎環境経済常任委員会副委員長 (2016.6～)
◎健康長寿調査特別委員会【委員長】
市街地開発組合議会議員／社会福祉審議会 高齢部会

●現在の主な役職

一条中魅力ある学校づくり地域協議会／西原小魅力ある学校づくり地域協議会／西原宮っ子ステーション運営委員会会長／チャレンジと愉快な仲間たち代表／村田発條労働組合特別相談役／JAM組織内議員団／栃木県地方議会女性議員連盟／ときめく未来へ参画会議実行委員